



## 令和5年度 福精連 要望活動報告

### 福精連顧問議員へご挨拶

当会の顧問議員として、福岡県議会議員3名の方々へご挨拶、委嘱状をお渡しさせていただきました。

自由民主党・松本國寛様  
民主県政クラブ・渡辺美穂様  
公明党・新開昌彦様

医療費助成やJR交通運賃割引など、当会が要望している内容について意見交換を行いました。

皆様、精神障がい者の方々やそのご家族が今いる地域で暮らしやすくなるよう協力すると心強い言葉をいただきました。



### 「九州運輸局との懇談会」8月7日

今年度も九州各県連代表と九州運輸局との懇談会をオンラインで開催しました。

参加者は各県連より16名、九州運輸局各部署から7名の参加がありました。

鉄道課・精神障がい者の割引は九州県内18事業所のうち17事業所で実現。残り1事業所（JR）。

旅客船課・現在9割超の導入率。昨年1社導入実現。タクシークール・現在9割超の導入率。福岡、大分は運賃改定時に割引導入。大手100%、個人99%以上導入。

バス課・九州管内100%の割引導入にて今回不参加。

令和3年6月に赤羽大臣より精神障がい者割引の導入促進を要請するよう指示が出たが九州運輸局としては、令和5年2月各事業所へ文書派出。精神障がい者の割引の理解と協力依頼。身体・知的と同等にと働きかけしており、今後も継続していきます。



### 「公明党政策要望懇談会」7月29日



今回は下野六太参議院議員はじめ県、市町村の議員の方々にご参列頂き有意義な懇談となりました。

楢橋会長、参加理事（一木、白石、田原、隅谷）より6項目にわたり要望を行いました。

- ①医療費全額無料にする働きかけを。
- ②JRや高速道路料金などの交通運賃割引を実現する働きかけを。
- ③精神の障害年金に対する改善要望を。（国）
- ④家族と家族会への支援に関する要望
- ⑤当事者が地域で安心して生活できる多職種訪問支援ができる仕組みを。
- ⑥就労支援に関する要望

最後に下野参議員より今後も引き続き要望実現に向け懇談を続けていきましょうと前向きな御言葉を頂きました。



## 世界メンタルヘルスデー 2023 ～つながる、どこでも、だれにでも～



SILVER RIBBON JAPAN

世界精神保健連盟が、1992年より、メンタルヘルス問題に関する世間の意識を高め、偏見をなくし、正しい知識を普及することを目的として、10月10日を「世界メンタルヘルスデー」と決めました。その後、世界保健機関(WHO)も協賛し、正式な国際デー(国際記念日)とされています。

### 第1回 家族職員研修会（事業所部会主催）

今回は話題提供「chat GPTに書かせてみました」事業所部会 ハイジ福祉会 山口隆充



開催日：6月23日  
場所：ベイス福岡博多駅前会議室  
この報告書では、6月23日に開催された主催事業所研修会について報告いたします。



講師プロフィール：講師として、小松千恵先生をお招きしました。小松先生は公認心理士であり、人間関係の改善や心理面でのサポートに長年携わってきた経験豊富な専門家です。

#### 研修会の内容

この研修会では、人格適応論と感情処理法を中心に取り上げました。参加者は、人格適応論に関する基礎知識や理論を学び、感情処理の方法や技術についても学びました。小松先生は、参加者の理解を深めるために具体的な事例や実際のシチュエーションを交えて解説しました。

#### 参加者の反応

研修会に参加した参加者からは、非常に好評なフィードバックがありました。参加者は、小松先生のわかりやすい説明と具体的な事例によって、人格適応論と感情処理法についての理解が深まったと感じました。特に、参加者は実際の日常生活や職場での応用について具体的なアドバイスを聞くことができたことを喜んでいました。

#### 次回予定

今後の研修会や活動については、参加者の要望やニーズに基づいて検討いたします。参加者の反応やフィードバックを踏まえながら、さらに有益な内容を提供することを目指しています。具体的な次回については、別途連絡いたします。

以上が、6月23日に開催された主催事業所研修会の報告書となります。参加者の皆様からの好評なフィードバックを受け、今後も有益な研修会を提供していくことを目指しています。

### 第2回 家族職員研修会 8月4日



令和5年8月4日（金）春日クロイパーラザにて開催しました。今回、会場のみとさせて頂いた為、久しぶりに多くの参加者が一堂に会し賑やかな研修会となりました。（参加者匿名）「精神障がいを持つ人のリカバリー」と題して内野俊郎先生（久留米大学医学部准教授）をお招きしました。

リカバリーとは「自分らしく、自分でも納得のいく人生を送れるようになる」こと。人生の主役はあなたであり夢や希望を大切にすることは、とても大事であり症状や病気があってもできる事は沢山あります。

家族や支援者は当事者が高い目標を掲げた場合、周りはつい失敗を恐れ、低い目標に変更、それは支援の正しい方法ではない。支援者とは高い目標であっても、目標が達成できるような道筋を一緒に立てる事が役割である。と話されました。また、本人の中にある目標、希望を大事にし、失敗しないための支援ではなく、失敗しても立ち上がる支援を心掛けましょう。と話されました。

例えば失敗しても失敗から得られる事も多く、それは失敗とは言わない。例：B型事業所で自信を持ち、A型へ移行するも挫折と落ち込む。A型が挫折したのではない、そのA型が合わなかっただけ。他のA型へ行ってみよう。

また、当事者の好きなことを伸ばそう。全てのことを上手になる必要はない。何の役にも立たないものなどない。好きなこと、得意なことをどんどん伸ばそう。と話されました。

講演後の質問会でも、参加者からの質問が途絶えず、内野先生の講演を受け、先生の話を聞いて良かった、もっとお話を聞きたかったと多くの声が聞かれました。

